

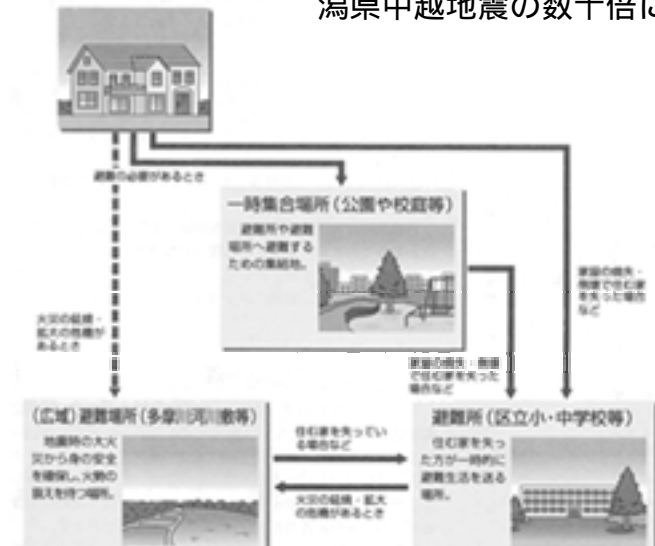
新潟県中越地震から学んだこと

昨年10月23日午後5時56分に、新潟県中越地方でマグニチュード6.8の大地震が発生しました。住宅の被害は約10万棟、死者は40人、避難者は最大で約10万人に達しました。

私たちの住む地区で発生が懸念される「首都直下地震」では、最大で約540～700万人の避難者が発生するとされており、人数の規模だけを比較しても新潟県中越地震の数十倍にも及びます。



避難の流れ
これは基本的な流れです。被害の状況により、この流れは変わる場合があります。自治体の状況、区や隣町などからの情報に十分ご注意下さい。



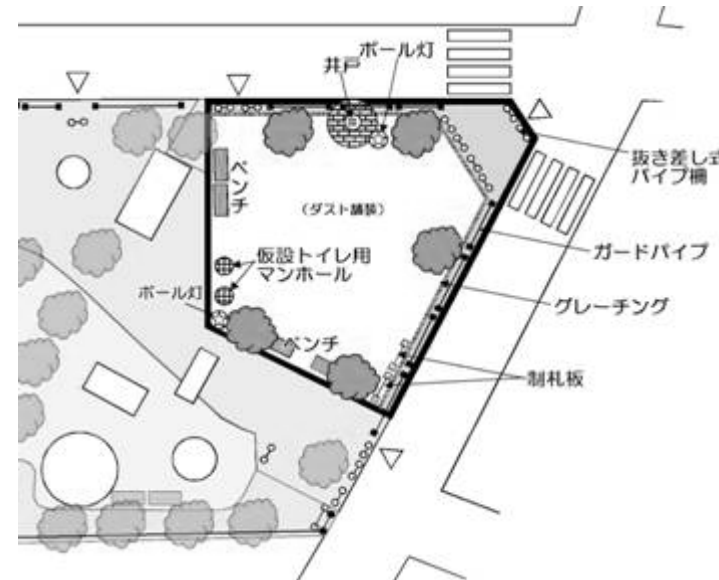
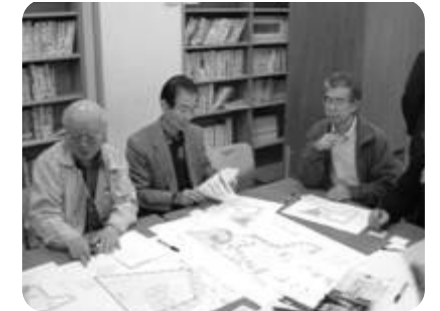
首都圏は住宅密集などで空地が少ないことにより、多数の被災者が避難生活を送る困難さが指摘されています。また、私たちの地区に多くある狭い道路では、倒壊した家屋の倒れ込みにより通行の支障が発生し、避難や救助などの遅れが生じると言われています。

現在は、地震を防ぐことや、地震の発生を正確に予知することはできません。だからこそ、地震に備えたまちをつくること、被災した際の確かな行動を取ること、そして助け合うことを日頃から意識しておくことが大切です。

公園づくりの意見交換に参加しました

北糞谷一丁目第二公園の拡張整備について、昨年10月から3回にわたり「公園づくり懇談会」が開催されました。

懇談会では、周辺にお住まいの方々や当会の会員が、災害時にも有効に活用できる公園とするための意見交換をしました。また、区から北糞谷小学校の児童のみなさんにも公園の使い方について尋ねました。



その結果、多くの人が集まることのできる広場、仮設トイレ用マンホールの設置、既設井戸の活用、既設の公園との一体化、などの提案が出されました。

この公園の拡張整備は、当会が提言している「防災活動拠点の形成の整備として、公園・広場等による防災空間づくり」の一環として行われることとなります。

なお、区では、この地区内でこのような公園の整備を検討しています。用地の件で何か情報がありましたら、都市開発課(電話 5744-1338)へご連絡ください。

我が家でできる防災対策(その)

家具類の転倒防止をしていますか

蒲田消防署で行われた「家具類の転倒防止対策に関する講習会」を受講しましたので報告します。

転倒防止器具には、次のようなものがあります。

<p>家具を壁に直接ネジなどで固定するもの</p>	<p>家具と天井の間を突っ張り棒で固定するもの</p>	<p>家具の中身が飛び出さないように扉を固定するもの</p>	<p>ガラスを割れにくくする飛散防止フィルム</p>
---------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------



壁に家具を固定する場合は、器具を必ず2カ所以上に使用し、柱など構造部材に打ち付けてください。あて木を付けるなどしてネジが抜けないようにしてください。塗り壁やボード部分にそのまま打ち付けても転倒防止の効果はありません。

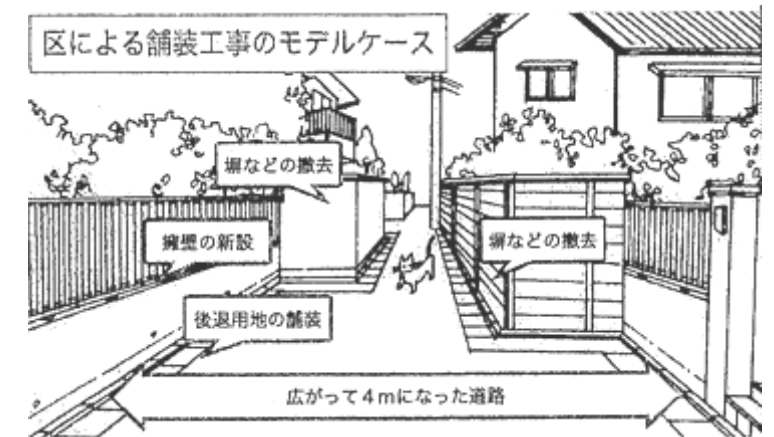
突っ張り棒を使用する際は、天井の強度を確認して使用してください。また、床がカーペットや畳など柔らかい素材の場合は転倒の恐れがありますので注意してください。

家具類の転倒防止器具はホームセンターで入手できます。こうした取り組みを行うだけでも、大地震の際に人命が守られます。ご参考になれば大変うれしく思います。(南蒲田三丁目 平塚 忠)

道が広い安全なまちを

私たちの地区内の道路は、日当たりや見通しを確保したり、火災が広がることを防いだり、緊急自動車が通行できるようにしたりするなどの重要な役割があります。

しかし、幅員が4メートルに満たない「狭あい道路」はこれらの役割を果たすことができず、災害時の危険性が高いとされています。



区では、狭あい道路の解消を目指し、平成16年7月から「狭あい道路拡幅整備事業」に取り組んでいます。建築物の建替え時に、建築主と拡幅整備について、建築確認申請の30日前までに協議を行います。協議に基づき、道路の拡幅整備を区で実施し、あわせて塀などの除却・設置に助成しています。なお、建築を伴わない場合でも、事業の適用がありますので、ご相談ください。(担当: 建築調整課、電話 5744-1308)